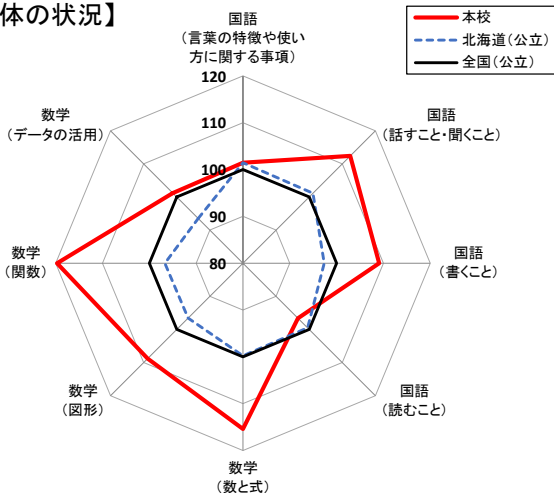


令和7年度全国学力・学習状況調査の結果分析について〔釧路市立北中学校〕

令和7年9月5日

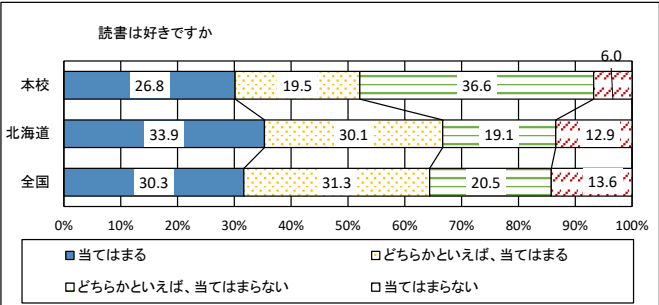
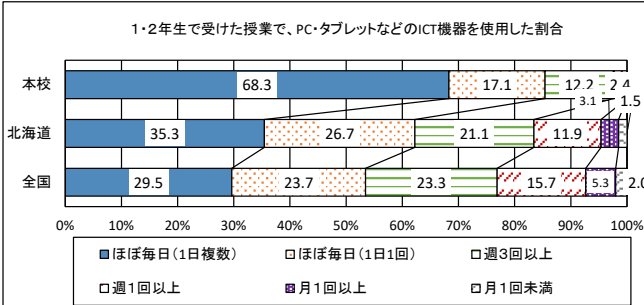
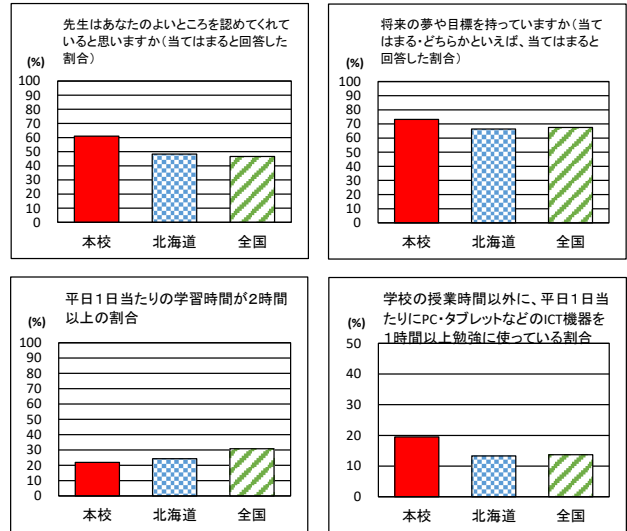
今年度4月17日に実施されました令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果が、過日、文部科学省から公表されたところで、本校においては、届きました結果を分析し、今後の対策や教育活動等の改善について検討してきました。つきましては、その概要と今後の取組の方向性をお知らせいたします。

【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び本校の状況をレーダーチャートで示したもの
(本校の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

【生徒質問紙調査】



【分析】

		成果	課題
教科	国語	○ 「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の設問で全道・全国平均を上回っている。	● 文の構成や展開について、根拠を明確にして考える問題の正答率が低い。 ● 「読むこと」の設問で全道平均・全国平均を下回っている。
	数学	○ 「数と式」、「関数」、「図形」において、全道・全国平均を大きく上回っている。	● 一次関数の変化の割合の応用問題で無回答率が高い。 ● 図形の記述式問題で無回答率が高い。
	理科	○ 「地球」を柱とする領域において、全道・全国平均を上回っている。	● 電気回路についての設問で正答率が全道・全国平均を下回っている。 ● 一酸化炭素の性質についての設問で正答率が全道・全国平均を下回っている。
生徒質問紙		○ 「国語と数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全道・全国平均と同程度である。 ○ 「先生はあなたのよいところを認めている」と回答した生徒の割合が、全道・全国平均を上回っている。 ○ 「授業時間以外でタブレットを1時間以上勉強に使っている」と回答した生徒の割合が、全道・全国平均を上回っている。 ○ 道徳の授業で自分の考えを深め、学級やグループ活動に取り組んでいる生徒の割合が多い。	● 朝食を毎日食べている割合が少ない生徒が多い。 ● 自然の中で遊んだり自然観察をしたりする生徒の割合が少ない。 ● 地域の大人と授業や放課後に勉強やスポーツ体験活動に関わることがある生徒の割合が少ない。

【今後の本校の取組】

- ◎ 授業においては、課題解決の過程を意図的に増やすとともに、生徒たちが「分かった」、「できた」を実感する場面を増やしていく。
- ◎ 国語においては、「読むこと」に課題が見られることから、作品の場面を捉えてその構成を理解するだけでなく、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉えることを重視した授業改善を進める。
- ◎ 数学においては、「図形」の記述式問題の無回答率が高いことから、図形の性質など根拠を明らかにして筋道を立て説明したり、その説明から新たな性質や関係を読みとることを重視した授業改善を進める。
- ◎ 理科においては、電気回路についての設問に課題があったので、熱量の定義に基づき、直列並列による電流や発熱量の違いがわかることを重視した授業改善を進める。

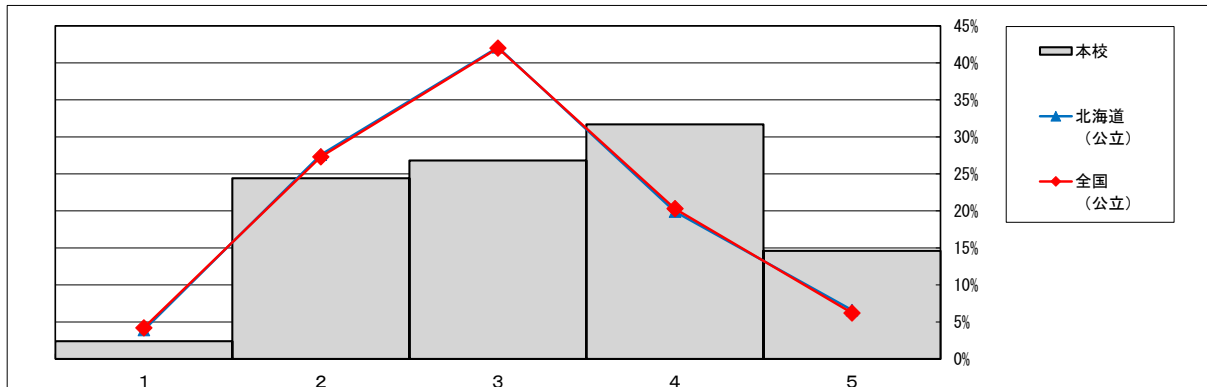
【家庭にお願いしたいこと】

- ◎ 本校の今年度の目指す生徒の姿は、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる生徒」です。そして、この姿を実現する資質・能力として、「当事者意識をもって発見する力」、「自己効力感をもつ力」、「挑戦しやり抜く力」、「責任をもって行動する力」を位置付けています。この4つの資質・能力を生徒が獲得するよう家庭としての具体的な戦略をもって、家庭における生徒の生活に保護者として伴走することをお願いいたします。

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果(理科)について〔釧路市立北中学校〕

IRTスコアとは、各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。IRTバンドとは、IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

【IRTバンド分布グラフ】



【IRTバンド分布比較】

